

2021年3月10日(水)

老球の細道598号

偉大なコーチ山崎先生の思い出〈PART2 1〉

会津バスケットボール協会 室井 富仁

◆7月27日(月)

生徒共に終日本場デイズニーランドで楽しんだ。デイズニーランド内のあちこちで生徒たちと出くわしたが、皆一様に、練習の時以上に意欲満々の表情で遊びまわっていた。危険度大マークの乗り物を全て制覇するのだと意気揚々として園内を駆け巡っていた。

米国に来て全然物おじしないで行動できる生徒たちを見て改めて誇らしげに思った。きっといつの日か、この中から世界を股にかけ縦横無尽に活動する人材が育っていくだろう。夕方7時の集合には全員遅刻なし。夜8時半に米国最後のミーティングをして、会津へ戻るまで最後まで集中力を切らさないよう、バスケットの試合に例えながら話をした。

[付記：後に日本でもデイズニーランドができたが、家族内でロス本場のデイズニーランド経験者は私だけである。今でも自慢の種で、家族皆からヒンシュクを買っている]。

◆7月28日(火)

帰国の日である。朝早くホテルを出発し、心配した渋滞にも巻き込まれないで予定よりも早くロサンゼルス空港に到着。バスの中では、帰りにロスまで同行した今回のツアーエージェントのガイ・ヒーリー夫妻に感謝の思いを込めて歌を披露した。会津高校校歌、そして凱旋歌である。私も精一杯歌ったせいか胸が熱くなってしまった。広い世界に出ていくと大きい人物に出会えるものである。ガイ・ヒーリー氏は190cm以上もあるナイスガイだった。

ロス空港では金属探知機にブーイングされたが、無事出国審査を終了し、一路日本へ向かって飛び立った。飛行機の中ではリラックスしたせいか、カリフォルニアワインやアメリカンビールをこたま飲んだため吐き気をもよおした。無料だと思って調子こいたのが災いの元だった。[付記：飛行機の中は酔いがまわりやすい。後年ドイツへ行った時も飛行機内で飲みすぎて体調を崩したことがある。この時は心臓パクパク、失敗の歴史は繰り返す]

成田まで約11時間、定刻に到着。日本時間は7月29日(水)午後4時半。全員無事入国審査完了。会津に着くまでは決して気を緩めないことを決意した。学校の猛反対を押し切って実施した米国遠征なので決してトラブルは許されなかった。今までの試合もそうであったが、大逆転で負けたり、延長で奇跡的に勝利を得たり、最後の最後まで何が起こるかわからないのが現実である。[付記：先日B1リーグの試合で0・3秒で逆転シーンを見た]

豪雨のため磐越西線に遅れが出たが、会津若松駅に夜11時無事到着。改札口を出たら保護者などから盛大な拍手で迎えられた。駅において拍手で出迎えられたのはわが人生においてこの時が初めての経験である。保護者の温かさに感激すると同時に、とうとう一大イベントを成し遂げた達成感と「ありがとう」の感謝の言葉で胸がいっぱいになった。

米国遠征の夢を現実にしてくれたのは、趣旨に賛同してくれた選手、保護者、OB会の援助のおかげである。そして何よりも山崎純男先生との出会いがあったからこそである。〈続〉